

提案

日付：2026/4/2

件名：小学校給食について

1. 問題、課題

小学生の子をもつ母です。この度学校給食費の無償化の通達がありました。無償化への対応、子育て世帯への対応は大変ありがたいと思います。しかしながら子供から聞く給食の内容、HPに掲載していただいているメニューを見たところ、もう少しおかずを増やしてもらえたらなと思っておりました。実際子供は帰宅するとお腹空いたと言うことが多く、お昼も休みの人がいないとおかわりが足りない等日々聞いています。

2. 改善案

日本には一汁三菜という伝統的食文化のスタイルがあり、将来の寒川町、日本を担う子供たちにお腹いっぱいにご飯を食べさせるのが大人の役目だと思います。無償化になった分+¥500でも+¥1000を各家庭の負担にしてもらい、給食のおかずを増やす等の対応は可能かと思います。今までの¥4300の負担と比べて負担率は減少のため、各家庭対応も可能かと思います。一町民の二児の母の一案としてご検討いただけると幸いです。

3. 改善後の効果

現状の献立でもフルーツポンチや揚げパン、ジョア等たまにしか出ない子供たちのテンションの上がるメニューが、仮に月に1度だったとしてそれが無償化+各家庭の今までの負担より少ない負担で月に2度または他のメニューも少し豪華にできるとしたら、子供たちは喜び、昨今の不登校改善へのわずかな一歩になるかもしれないと思います。子供の未来は今後の町の未来、国の未来へとつながると思います。たかが一町が動いても何も変わらないかもしれないけど、ただ国の対応に従うだけが少子化やその他の問題へ改善が図れるとは到底思いません。国よりも町でより小さい媒体で試してみることは、国の先駆けにもなるのではないかと思います。ぜひぜひご検討、ご対応をお願いしたいです。

回答

<小学校給食について>

【所管：教育施設給食課】

ご提案にありましたとおり、令和8年度から国の「学校給食費の抜本的な負担軽減」を目的とした施策として、基準にもとづく一定額の補助が市町村に行われることとなりました。基準額は示されているものの、給食費額は各市町村で設定することができ、不足が生じた場合は保護者から徴収ができるものとされています。

なお、令和8年度の当町の給食費額は国の基準額を上回っておりますが、保護者からの徴収は行わず、町として独自に補助を上乗せすることで実質的な無償化を実施しております。

このたびいただいた意見をしっかりと受け止め、献立を工夫していく中、保護者からの負担を求めるかという点も含めて十分に検討していき、より多くの方が満足できる給食を提供できるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

【所管：寒川学校給食センター】

給食へのご提案をいただきありがとうございます。子どもの未来が国の未来につながるご意見には、子どもの食と健康に関わる者として気が引き締まる思いです。

町では、基本的には文部科学省の定めている「学校給食摂取基準」に沿って給食を提供しております。令和7年の2学期より、寒川町の児童生徒の実態に応じた基準値を設定するため、児童生徒個別の推定エネルギー必要量（EER）ならびに給与エネルギー目標量を求めて、新たな基準値による給食を提供しております。

ご指摘のように、児童が満足感を得られるような献立を工夫していくことは必要であると感じております。併せて、子どもたちが一生涯にわたって健やかに生きていくことができるよう、給食を通じた食育にも取り組んでまいります。

今後とも学校給食にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。